

外科

主な対象疾患

消化器がん：食道がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がん、胆管・胆のうがん など

良性疾患：胆石症、腸閉塞、ヘルニア など

救急疾患：腹部外傷、急性虫垂炎、消化管穿孔 など

一部の小児疾患：虫垂炎、ヘルニア（※小児：6歳～15歳まで）

診療科の特徴

茨城県北部の中核病院として、消化器がん、良性疾患、救急疾患など多岐に渡る手術を行っております。【地域がん診療連携拠点病院】【茨城県地域がんセンター】の指定を受けており、食道がんや肝臓がん、膵臓がんなどの高難度手術も含め、がんに対する手術件数が多いことが特徴です。

患者さんへ負担の少ない鏡視下手術も積極的に導入しており、近年その数は増加傾向にあります。3名の【内視鏡技術認定医】の指導のもと、早期胃がんや大腸がんにおいては、鏡視下手術を第一選択としています。

また、直腸癌においては、ロボット手術も保険診療で行っております。高度進行がんに対しては、消化器内科、放射線科、緩和ケア科の協力を得た集学的治療（化学療法、放射線治療、緩和医療）を行っています。

さらに救急救命センターを併設しており、緊急手術に対しては、24時間体制で積極的、かつ迅速な対応をしております。

メッセージ

地域がんセンターとして、肝胆膵領域と食道から肛門までの消化管の腫瘍について積極的に治療しております。

毎週の消化器内科・外科・放射線科との合同カンファレンスで、化学療法・手術・放射線治療で何が患者さんにベストかを検討し迅速に治療致します。

副院長（外科）
酒向 晃弘

診療実績

2021年の主な手術件数

	開腹(開胸)手術	腹腔鏡手術	合計
食道腫瘍		7例(全て縦隔鏡)	7例
胃腫瘍	29例	42例 (内ロボット3例)	71例
大腸腫瘍	39例	151例 (内ロボット手術23例)	191例
肝胆膵腫瘍	43例	9例	52例
胆嚢疾患(良性)	27例	91例	118例
大腸虫垂疾患(良性)	8例	32例	40例
鼠径部ヘルニア	52例	27例	79例

当院の消化器内科では早期食道がん、早期胃がん、早期大腸がんに対して内視鏡治療を行っています。内視鏡治療は保険適応となった2006年4月より切開剥離法(ESD)を開始しました。

胃ESDはこれまでに約1000例、2021年は78例施行しています。また、2021年は大腸ESDを67例、食道ESDを2例施行しています。ESD適応外病変には外科的手術となりますが、2021年は胃腫瘍71件、大腸腫瘍191例、食道腫瘍7件施行しています。

消化器内科での集学的治療を含めた抗がん剤治療は食道がん、胃がん、大腸がん、直腸がん、膵がん、肝細胞がん、十二指腸乳頭部がん、GIST、胆管がん、胆嚢がん、胆管細胞がん、原発不明がんに対して行われています。初診時に残念ながら手術適応にならないような進行がんに関しては消化器内科に抗がん剤治療を依頼しています。

医師紹介

副院長 酒向 晃弘(さこう あきひろ)

1996年 東京大学医学部卒

主任医長 三島 英行(みしま ひでゆき)

1998年 弘前大学医学部卒

主任医長 青木 茂雄(あおき しげお)

2002年 昭和大学医学部卒

主任医長 丸山 岳人(まるやま たけひと)

2003年 筑波大学医学専門学群卒

主任医長 荒川 敬一(あらかわ けいいち)

2008年 福島県立医科大学医学部卒

◆お問い合わせ◆

(株)日立製作所日立総合病院

地域医療連携室

〒317-0077 茨城県日立市城南町二丁目1番1号

TEL: 0294-23-8343

FAX: 0294-23-8412